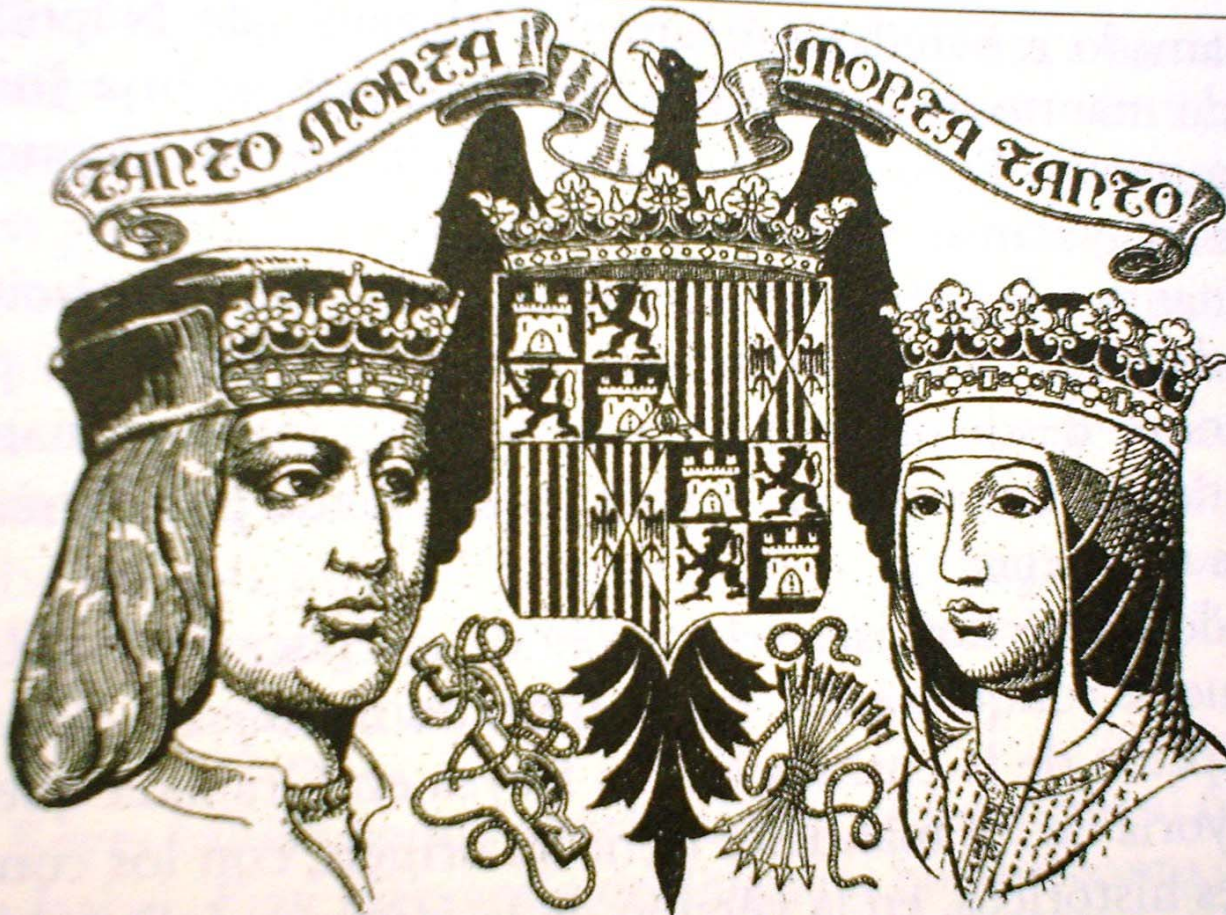


# カトリック両王の時代

- 「スペイン王国」の成立
- イサベルとフェルナンドの統治  
※1492年の4つの出来事
- スペイン「国民形成」とカトリック両王
- イサベル女王死後の混乱  
⇒ハプスブルク・スペインの時代へ

*Tanto monta, monta tanto Isabel como Fernando.*

# カトリック両王の時代 (1474～1516)



# 15世紀末のスペイン(国土回復運動の終焉)

- ポルトガル王国
- カスティーリヤ王国(カスティーリヤ、レオン)
- ナバーラ王国
- アラゴン連合王国(アラゴン、カタルーニャ、バレンシア、バレアレス)
- グラナダ王国



# 「スペイン王国」の成立

- 1468年9月、イサベルがエンリーケ4世と協定を締結（ギサンド）
- 1469年、カスティーリャ王女イサベルとアラゴン王子フェルナンドの結婚
- 1474年、エンリーケ4世死去。イサベルがカスティーリャ王に即位宣言。
- 1475年、夫フェルナンドとの間にセゴビア条約を締結、カスティーリャの共同統治に合意。王位継承戦争の勃発。
- 1476年2月、イサベルはトロの戦いに勝利、女王の地位を確立。マドリガルでコルテス（王国議会）を開催。
- 1479年、フェルナンドがアラゴン王に即位。ポルトガルとアルカソヴァス条約を締結。「スペイン王国」の共同統治。
- 1480年、トレードでコルテスを開催。王国統治制度の諸改革。
- 1482年、グラナダ戦争を開始。



# イサベルとフェルナンド の統治



## ・ 1492年の四つの出来事

(1)グラナダ陥落(1月2日)、レコンキスタ(再征服)の終結

(2)ユダヤ教徒の追放令を公布(3月31日)

(3)コロンブスのアメリカ到達(10月2日)、新大陸のコンキスタ(征服)の開始

(4)ネブリーハ『カスティーリャ語文法』を出版

# カトリック両王の国内統合政策(1)

⇒宗教的国家的統一

「カトリック王政」(Monarquía Católica)

○異端審問所の設立

(隠れユダヤ教徒の弾圧)

○ユダヤ教徒追放令の公布



# カトリック両王の国内統合政策(2)

## ○グラナダ陥落



## ○イスラーム教徒の強制改宗 ⇒モリスコ





# 同時代の「カトリック両王」イメージ

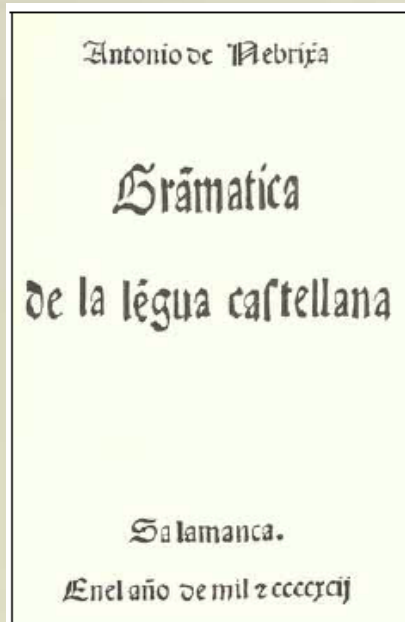




# 新大陸の「発見」



# ネブリーハ『カスティーリャ語文法』



「言語は帝国の伴侶である。」

Quando bien conmigo pienso, muy esclarecida Reina, y pongo delante los ojos el antigüedad de todas las cosas que para nuestra recordación & memoria quedaron escritas, una cosa hallo & saco por conclusión muy cierta: que **siempre la lengua fue compañera del imperio.** Y de tal manera lo siguió que juntamente començaron, crecieron, y florecieron. & después junta fue la caída de entrambos. [...]



# スペイン国民形成と 「イサベル女王」

- ・ 「回帰的・懐古的・伝統的」なスペイン・ナショナリズム
- ・ 祖国の肖像＝イサベル
- ・ 15世紀末にすでに「国家統一」が実現したとする。  
——「イサベルとフェルナンドの幸運な結婚」
- ・ 王政
- ・ 宗教
- ・ 軍隊
- ・ スペイン語

⇒「イスパニダー」神話  
(10月12日)

⇒ナショナル・カトリシズムへの動き

《カトリック女王イサベル記念碑》(マドリード、1883年)  
——メンドサとグラン・カピタンを伴う。





# カトリック両王と歴史的記憶



王冠／カスティーリャ／レオン／アラゴン／シチリア／輓(くびき)／5本の矢の束／「鷲」の聖ヨハネ  
／ナバーラ／グラナダ／”Plus Ultra”／”Una, Grande, Libre”(一つにして、偉大で、自由である)

# (補説)現在のスペインの国章



- ・ 国旗
- ・ 国章

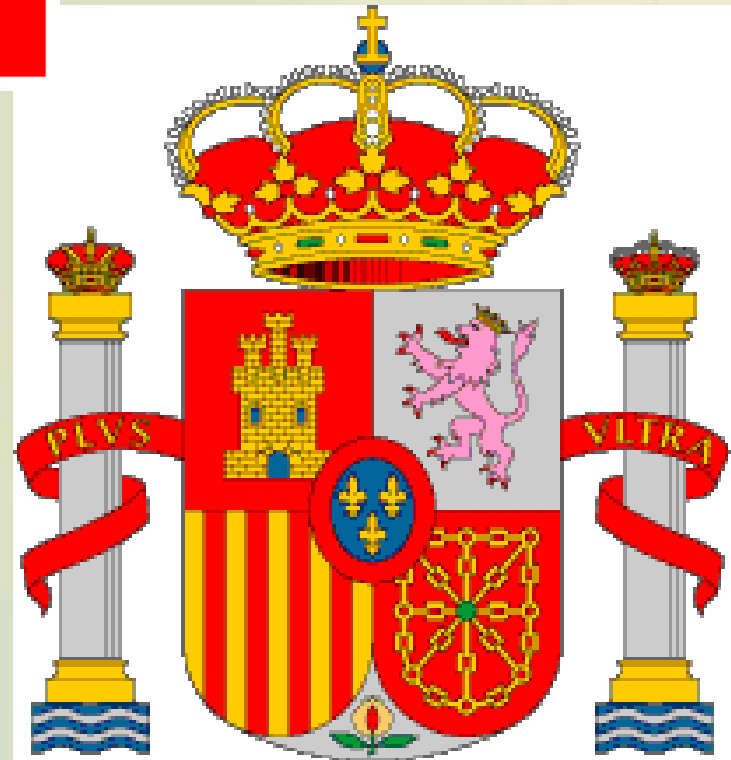
1981年に制定

- ・ 国歌   
“Marcha Real”
- ・ ナショナルデー

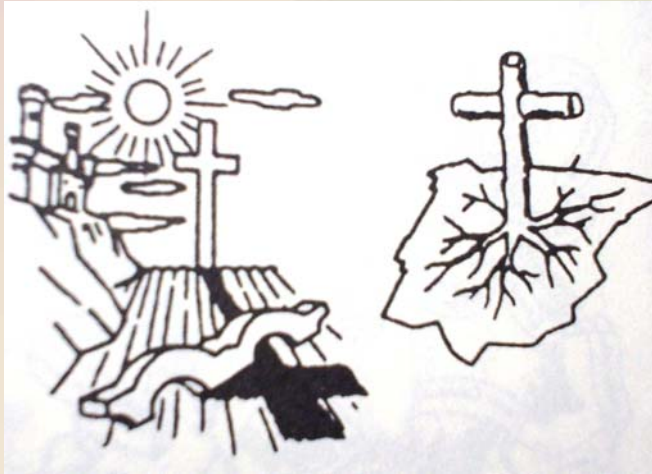
10月12日＝「イスパニダー」の日

- ・ 憲法

1978年憲法(12月6日)



# フランコ時代の歴史教科書







# イサベル死後の混乱からフェルナンドの死去、孫カールの国王即位まで

- ・ 1504年11月イサベル1世没。カスティーリヤ王国女王にフアナ1世が即位。
- ・ 1506年4月、フアナの夫フィリップが共同統治王フェリーペ1世として即位(9月に死去)
- ・ 1512年、ナバーラ王国、カスティーリヤに併合
- ・ 1516年、フェルナンド2世の死去により、カルロス1世即位(ブリュッセルでの「クーデタ」)。  
→ハプスブルク朝スペインの開始

# 一トレードの聖ヨハネ教会

## 一グラナダの王室礼拝堂





# マクシミリアン1世の家族

(宮廷画家シュトリゲルによる肖像画)



# フィリップ美公とフアナ1世(狂女王)



» 『女王フアナ～  
愛し過ぎてし  
まった女～』  
フアナ(ピラール・  
ロペス・デ・ア  
ジャラ)

# 狂女王アナ





# カトリック王フェルナンドの同時代像

## ネブリーハ献上の言葉

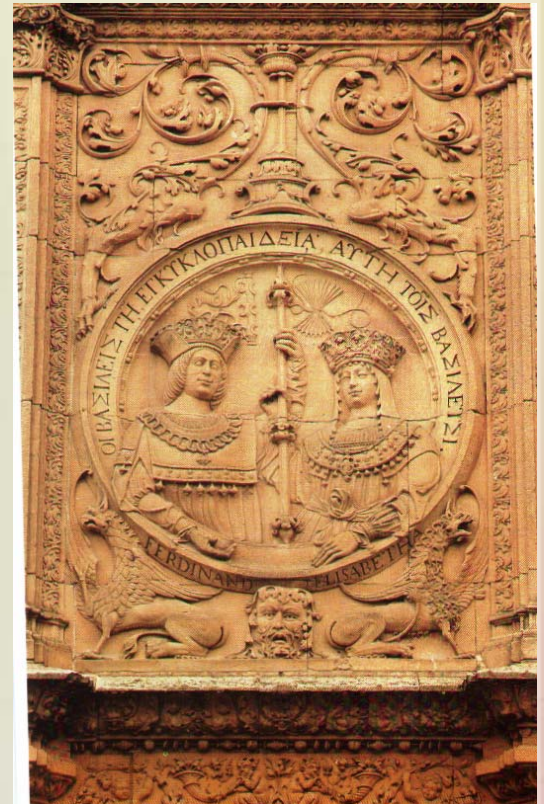
“tanto monta” —「同じことである」(「ゴルディオスの結び目」の逸話より)

## ニコロ・マキアヴェッリ『君主論』(1532年刊行)

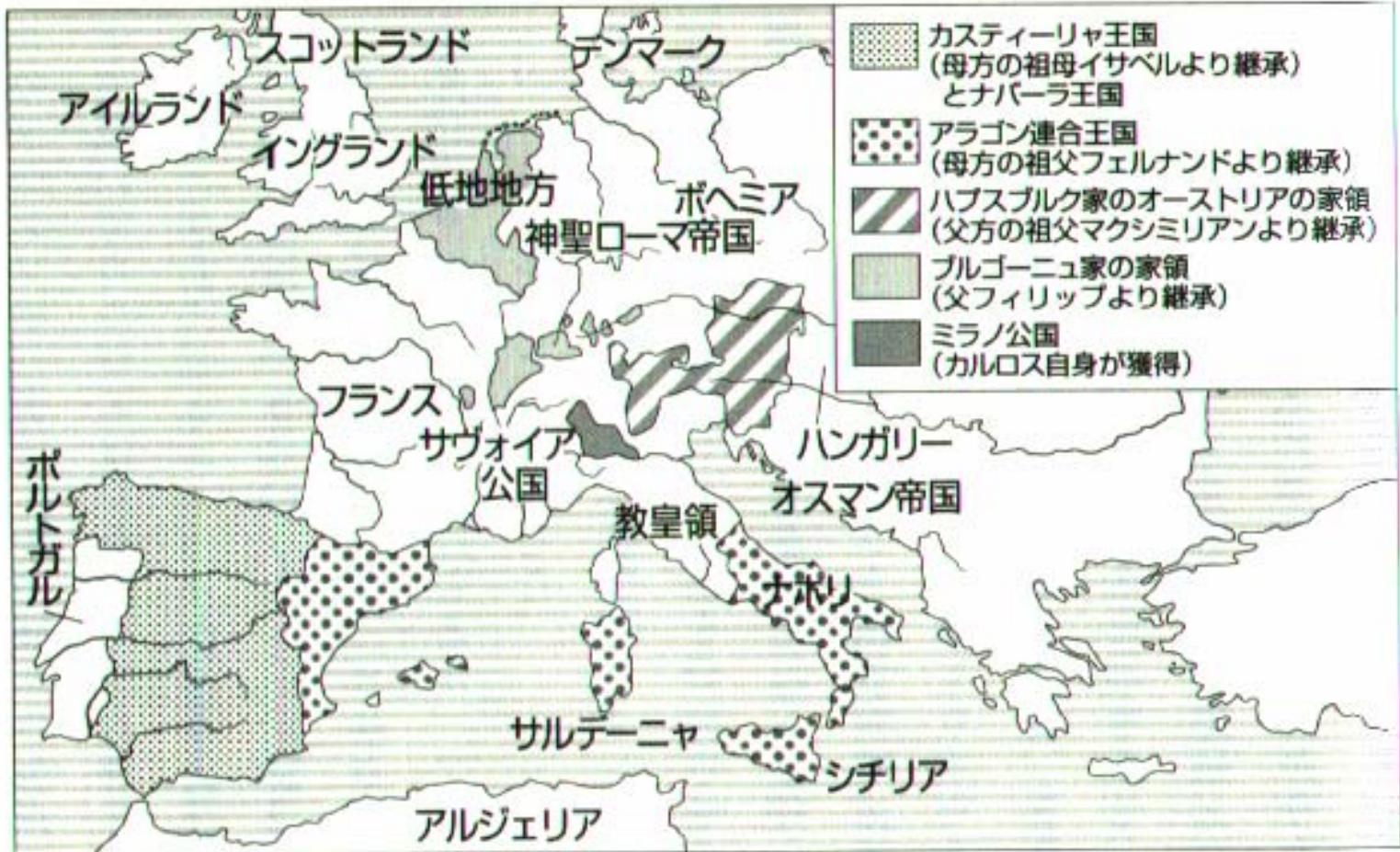
「一貫して宗教を利用し、敬虔な残虐行為を実践して、自分の王国からマラーノたちを追放し、かつその財産を奪った。」

## バルタサル・グラシアン『政治家, カトリック王フェルナンド』(1640年)

「あれこれの不信心者を浄化し、異端審問制という聖なる監視の裁判所を設けることによってスペインを宗教的なものにした。」



# カール5世(カルロス1世)の版図



カルロス1世の帝国

スペイン・ハプスブルク家

